

平成26年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立 岡崎 小学校
作成日	平成 27年 3月 10日

1 教育目標

強いからだと豊かな心を養い、最後までよく考え、意欲的に生きる子どもの育成
育てたい子ども像「思いやりのある子、考える子、さきに行動する子、きたえる子」

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	児童・教職員・保護者が三位一体となって取り組むことは、大変良いことである。 児童の健全育成に対し良い目標である。	今、失われつつあるように感じる子どもの豊かな心を取り戻すために、また、子どもたち自身と他の人を大切にできるように目標設定することが必要であると痛感している。	思考力・表現力を伸ばすための取組と個々を大切にした授業の取組（指導）の目標は必要であると思う。
取組の状況に対する意見	地域の関係団体と連携し、児童の健全育成及び安全を確保していく体制は良く、他の地域に比べ安全の確保ができていると感じている。	学校側は、日々、様々な問題に対して教育活動全体を通して取り組んでいるが、子どもをより良い方向へ導くために、一層、努力してもらいたい。	落ち着いた授業ができ、充実した指導となるためには、子どもたち一人一人の個性を生かし、基礎的・基本的な学力の向上に一層努力し取り組んでもらいたい。
検証結果に対する意見 取組の適切さの	保護者・教職員・地域の関係団体と連携し、児童の安全確保が十分できており、地域の見守り隊と子どもたちの繋がりも十分であるところから、明るくのびのびとした子ども育成ができている。	学校側の努力により、子どもたちは、自分たちがしていかなければならない問題（課題）を少しずつではあるが、自分たち自身で考えることができるようになってきた。これらは、取組の成果であり、個々の個性を生かしその可能性を發揮できるようになりつつある。	学力に個人差があることは理解でき、指導の難しさについては理解できるが、その困難な状況を乗り越え、学力の向上に取り組んでほしい。
改善方法に向けての意見 次年度に向けての	他の地域では、帰宅後、自宅近くで殺害されるという痛ましい事件があったが、次年度は、保護者・学校・地域の関係団体等と連携し、帰宅後の子どもの安全を考える必要性もあると感じている。一層、各方面からの連携を意識してみんなで取り組んでいきたい。	今後、子どもたちが心豊かに、自分も他人も大切に、仲良く学校生活を送れるよう、取組の幅を一層広げ、改善してもらいたい。	次年度も、今年度と同様に子ども一人一人を大切にしながら、学力の向上に努めてほしい。 さらに、基礎体力の一層の向上に向けて取り組んでほしい。

3 其他のご意見

今年度は、本当に悲痛な出来事が多く発生した。子どもたちが安全・安心に生活ができるために、特に帰宅後の安全の確保ができるよう、学校が中心になって働きかけていただき、それぞれの立場から一層連携を密にし、皆が一つになって取り組めることを願う。